

# 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 農林水産学研究科・1年

氏名: 佐野 玲央

授業科目名	Tropical Fisheries
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>フィリピンの水産業に関する英語による授業を受講し、ミニリサーチ活動を行いました。また、地域の水産物流通に関する現状や水産分野の研究内容を理解するためのスタディツアーを行いました。</p> <p>自身の学習成果は、コミュニケーション能力および途上国視点の問題解決能力の向上です。講義の受講やリサーチ活動、プレゼンテーションおよび質疑応答、現地の学生との交流において、英語を使って不自由なくコミュニケーションを図ることができ、自身の英語力に大変自信を持つことができました。また、リサーチ活動に協力していただいた多くの地元の方々との交流を通じ、英語だけでなくタガログ語を使って簡単なコミュニケーションを図ることができるようになりました。1週間で覚えた単語は約30個になります。自身の変化を通じて、その国の人々に受け入れてもらうためには英語だけではなく語学力および自身の学ぼうとする姿勢が重要と実感いたしました。</p> <p>さらに、現地の水産業の現状と課題を途上国の視点から解決する力を培い、日本では得難い大変貴重な体験をさせていただきました。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>現地での生活を体験して得た気付きは「感謝」です。活動を通じ、現地の教授や学校スタッフ、学生、訪問した施設の職員など多くの方々の多大なサポートが無ければこんなにも貴重な体験はできなかつたと何度も実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>また、リサーチ活動中に路上生活をしている子供からお金をせがまれる体験をした時に、特に感謝の気持ちを痛感させられました。この他にも、途上国が抱える大きな問題の一つである貧富の差を感じる場面に多く遭遇し、当たり前と思っていた自分の環境が非常に恵まれていると気づかされました。</p> <p>「私の日常の当たり前は、周囲の多くの人々の努力の上にある」。感謝の気持ちを忘れず、一日一日を大切に生きていきたいと思えます。</p>	
3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>多角的な視点で考える力に最も大きな変化があったと感じています。事例として、現地の大学のある教授の方からお話を伺った経験を挙げます。教授に対し、日本の水産業の課題について伺うと、私が予想していなかった回答を頂きました。日本の中にいると気が付かなかった新たな問題を発見し、事象を多角のおよび客観的な視点で考察することの重要性を感じました。</p> <p>また、現地の人々との交流を通じてこの力を伸ばすことができました。フィリピンでは言語や宗教など様々な違いを持つ人々が生活しています。しかし、それぞれがお互いの文化や価値観を尊重し、助け合いながら生活していることが特に印象に残りました。現地の人々に敬意の念を抱いて接することで、お互いを認め合い尊重することの大切さ、そして、そのためには多角的な視点を持つことが重要と感じました。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>フィリピンなど東南アジアをはじめ、世界中の途上国の発展のために尽力したいという新たな目標を得ることができました。背景は2つあります。第一に、貧困という課題を肌で感じたことです。日本の当たり前は途上国では異質であることに気が付かされ、人々のより良い暮らしの実現のために貢献したいと感じるようになりました。第二に、現地の人々の心の豊かさを感じたことです。今回出会った人々の中には、決して恵まれているとは言えない環境の方もいらっしゃいました。しかし、彼らは決して下を向いたり不平不満を漏らしたりすることはありませんでした。それどころか、異国から来た見ず知らずの私を思いやりの心で受け入れました。また、「少しでも現状を良くしよう」「楽しく生きよう」とする人々の姿勢に感銘を受け、私にできることで少しでも彼らの役に立ちたいと強く思いました。修士研究等の活動を通じて知見を広め、途上国の発展に寄与することができる人材を目指します。</p> <p>成功も失敗も、この活動で得た全ての経験を今後の人生の糧にし、将来、社会人として地域社会の発展のために寄与できるよう尽力したいと思います。最後になりましたが、貴重な機会を与えてくださった石崎先生をはじめ、研修にご協力をいただいた全ての関係者の皆様に感謝を申し上げます。</p>	

## 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

## 【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 農林水産学研究科・1年

氏名: 奥田 直

授業科目名	Tropical Fisheries
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>私は、フィリピンで国内の水産業や経済、マーケットなどについての5つの授業を受講し、フィリピンの水産業の概要について学びました。授業以外の活動として、様々な大学、市場、ミルクフィッシュなどの養殖場を見学しました。実際の様子を目で確認することで、どのように生産されているか、またはどのような仕組みで流通が行われているかなど深く理解しました。最後に、訪問した市場で行った調査についてデータをまとめ、日本とフィリピンの市場の違いを題として大学の先生方の前で発表しました。実際に英語でプレゼンテーションをしたので大変でしたが非常に良い経験になりました。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>私が学んだことの中で最も印象に残っているのが、フィリピン人の英語力です。タガログ語を話す人の方が多いものの、英語で会話する場面が日本と比較すると圧倒的に多いという感想を持ちました。日本とフィリピンという国の成り立ちは全く違うとはいえ、私自身を含めた日本人の英語力のなさを10数日で痛感しました。賢者は歴史から学ぶなどともいいますが、実際に海外に行くなどの「経験」をしなければ本当の理解を得ることはできないということを実感した気がしています。また、日本の義務教育にある英語の授業は基礎を学ぶ上では重要であるとは思いますが、それだけでは全く使い物にならないということも実感しました。</p>	
3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>一番私の中で変化したと思うのは、人々に対する感謝の気持ちです。フィリピンの大学の先生方は私たち僅か2人の研修生に対して、様々な授業をして下さり、滞在中のスケジュールを細かく組んでいただきました。また、現地の学生にも行動を共にしていただき、わからないことに対して質問をしてもすぐに答えてくれました。私は、普段一人で過ごすことも多いのですが、これほど多くの人達に支えられながら生活したことは人生においてありませんでした。今までも人に対して感謝しながら生きていたつもりでしたが、改めて自分の無力さと、人々への感謝に気づけたと思っています。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>今回の研修で貧困に対する理解も深められたと思っています。私ができる今後の取り組みとしては、より幅広い視点を持ち、こうした社会問題に対して自分なりの答えを導けるように、時間をかけながらも信頼できる情報の収集に励むことであると考えます。そして、社会の誤っている点に気づき、多くの人たちと議論していくことで社会貢献をしていきたいと考えています。したがって、世界中の人とコミュニケーションをとり、様々な考え方を吸収できる環境に身を置くことを目標として設定したいと思っています。そのためにはまずは英語を身につけられるように勉強しなければならないと考えています。</p>	